

別紙1

第34回施設園芸総合セミナー プログラム

開催日：平成25年2月21日(木)・22日(金)

会場：東京・晴海客船ターミナルホール

テーマ：施設園芸新技術とイチゴ高収益施設園芸の実現を目指して

2月21日(木)

開会

挨拶

第1部(13:20~17:10)

「施設園芸の将来を支える新技術」

1. トマト低段密植栽培の課題と可能性—日本型植物工場はどうあるべきか—
千葉大学大学院 准教授 丸尾 達
2. 人工光型植物工場を利用した革新的なブルーベリー栽培法
東京農工大学農学研究院 教授 荻原 勲
3. 大幅な省エネを可能にする次世代型パイプハウスの開発
近畿中国四国農業研究センター 主任研究員 川嶋 浩樹
4. 自然換気および高圧細霧冷房による温室の高温抑制技術
農村工学研究所 主任研究員 石井 雅久

2月22日(金)

第2部(10:00~16:30)

「イチゴ高収益施設園芸の実現を目指す集い」

5. 環境制御によるイチゴの多収技術
(株)誠和。主幹研究員 斎藤 章
6. イチゴの品種開発(栃木の育種戦略を含む)
栃木県農業試験場いちご研究所 室長 植木 正明
7. イチゴ早出し栽培の新技術
栃木県 生産者 一木 茂
8. イチゴの観光直売経営の現状と課題
千葉県 生産者 相葉 英樹
9. 早期出荷および多収栽培技術による大規模経営とニューファーマーの育成による
イチゴ産地の形成
静岡県 生産者 堀井 一雄
10. パネルディスカッション
コーディネーター (社)日本施設園芸協会 会長 篠原 温
パネラー 話題提供者、農林水産省施設園芸担当官

※ 講演は一人50分(45分講演、5分質疑)、生産者の事例発表は一人20~30分